

## コンクリート構造物補修用エポキシ樹脂モルタル



# ボンドEモルタル

ボンドEモルタルは、特殊骨材を配合した高強度のコンクリート構造物の断面補修用エポキシ樹脂モルタルです。

特殊骨材を配合しており、天井面、垂直面に使用してもダレません。優れた施工性で、露筋補修やコンクリート構造物の欠損部の補修に優れた効果を発揮します。

### ■用途

コンクリート構造物の露筋部の充てん補修  
 コンクリート構造物の欠損部の補修、補強  
 下地の不陸修正  
 コンクリートの表面補強および保護

### ■特長

**作業性**：コテさばきや成形性が良く、きめ細やかな面に仕上がります。  
**ノンランプ**：20mm程度の厚さなら、垂直面や天井面でもダレずに施工できます。  
**高強度**：硬化物の圧縮強さや曲げ強さに優れます。  
**接着性**：エポキシ樹脂系プライマーを使用するため、コンクリートやモルタルに優れた接着性を示します。  
**耐久性**：耐水、耐候性が良く、凍結融解性にも優れています。

### ■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン 変性脂肪族ポリアミン
外 観	灰白色モルタル状	灰黒色モルタル状
混 合 比	主剤：硬化剤＝2：1（質量比）	
可使時間	90±15分（20℃、1kg）	

※数値は規格値ではありません。

### ■施工方法

#### 下地の表面処理

- ワイヤーブラシなどで、施工面のホコリや脆弱な個所を取り除き清浄にします。鉄筋の錆も取り除きます。



#### プライマーの塗布

- ブラシやハケで、E補修用プライマーを300～500g/m<sup>2</sup>塗布します。プライマーは、質量比で主剤：硬化剤＝3：1の割合で混合します。



#### Eモルタルの混合

- 主剤と硬化剤を2：1（質量比）の混合比で計量し、ポリバケツなどの容器に移し均一になるまで混練します。手で混練するときは、ゴム手袋などを着用し、素手でふれないようにしてください。
- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれれる量にしてください。



#### Eモルタルの施工

- プライマーにねばつきのある間に、コテで下地にすりつけてEモルタルを下地に密着させます。5mm程度が目安です。さらにEモルタルのをせ、金ゴテで押さえ込みながら充てんします。
- 施工面の状況に応じて、型枠を使用してください。
- ウエスでコテをふきながら施工すると、コテ切れがよくなります。



#### 仕 上 げ

- 充てんが済めば表面を入念に金ゴテで仕上げます。型枠を使用している場合は、ずらすようにして取り外します。



#### 養 生

- 仕上げ後は、夏季12時間以上、冬季24時間以上の硬化養生が必要です。養生にあたっては、過度の振動、衝撃、水分などを与えないように注意してください。

※器具類に付着したものは、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。

※低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。

## ■技術データ ●Eモルタル硬化物の性能規格（社内規格値）

項 目	社内規格値	試験方法
比 重	1.35±0.10	JIS K 7112-1980
圧 縮 降 伏 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	35.0以上	JIS R 5201-1997
曲 げ 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	20.0以上	JIS R 5201-1997
接 着 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	1.0以上	引張試験 ※

※「建築改修設計指針」に準拠。

養生：20±1℃、7日間

## ■梱包容量 ●Eモルタル：9kgセット（主剤：6kg、硬化剤：3kg）

## ■警 告 健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

**注意事項：**本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

●作業場所は十分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。●温度が40℃以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●大量に混合すると、発熱し煙が発生したり可使時間が短くなることがある。可使時間以内に使いきれぬ量を混合する。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。（記載の性状等は2002年11月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。）

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

**コニシ株式会社** **ボンド事業本部** 本 部／大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927  
東京支店／東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175 仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990 金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794  
福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545 北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187 広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676  
札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219 厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636 高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623